

正誤表

『2025 年度 都道府県 登録販売者試験 過去問題集』及び『解答・解説』に、以下の誤りがありましたので、訂正してお詫び致します。

一般社団法人 日本薬業研修センター

『過去問題集』

【該当箇所】	【誤】	【正】
35 頁〔60〕	☞60 頁	☞10 頁
35 頁〔61〕	☞61 頁	☞10 頁
66 頁〔30〕の出題地区	〔滋賀・京都・大阪・兵庫・和歌山・徳島・奈良〕 〔福井〕	〔富山・石川・岐阜・静岡・愛知・三重〕
103 頁〔30〕の出題地区	〔富山・石川・岐阜・静岡・愛知・三重〕	〔福岡・大分・佐賀・長崎・沖縄・鹿児島・熊本・宮崎〕
190 頁〔7〕	3 エタノール オキシドール	3 エタノール 4 オキシドール
251 頁〔16〕	※選択肢が抜けていました	a b c d 1 誤 正 正 誤 2 正 正 誤 正 3 正 誤 正 誤 4 誤 正 誤 正 5 正 誤 正 正
258 頁〔32〕	※選択肢が抜けていました	1 (a、b) 2 (a、c) 3 (b、d) 4 (c、d)
328 頁〔13〕	日本薬局方精製水	1 日本薬局方精製水

『解答・解説』

【該当箇所】	【誤】	【正】
15 頁〔14〕の解答	※選択肢、解答、解説が抜けていました	d 誤 <u>国、輸入販売業者及び製造業者が被告として提訴された。</u>
19 頁〔24〕の解説	a 誤 間質は、毛細血管と <u>間質</u> を取り囲み支持している組織である。	a 誤 間質は、毛細血管と <u>肺胞</u> を取り囲み支持している組織である。
20 頁〔37〕の解説	d 誤 ～（副腎皮質では、副腎皮質ホルモン <u>32</u> が産生・分泌される。）	d 誤 ～（副腎皮質では、副腎皮質ホルモン（ <u>アルドステロン等</u> ）が産生・分泌される。）
22 頁〔54〕の解説	d 誤 蝸牛は、渦巻き形をした <u>平衡器官</u> で、～	d 誤 蝸牛は、渦巻き形をした <u>聴覚器官</u> で、～
23 頁〔61〕の解説	b 誤 汗腺には、腋窩（わきのした）などの毛根部に分布するアポクリン腺と、手のひらなど毛根がないところも含め全身に分布するエクリン腺（ <u>体臭腺</u> ）の二種類がある。	b 誤 汗腺には、腋窩（わきのした）などの毛根部に分布するアポクリン腺（ <u>体臭腺</u> ）と、手のひらなど毛根がないところも含め全身に分布するエクリン腺の二種類がある。
23 頁〔66〕の解説	b 誤	b 誤 <u>骨格筋は随意筋であり、平滑筋及び心筋は不随意筋である。</u>
25 頁〔2〕の解説	1 誤 内服薬のほとんどは、その有効成分が主に <u>消化管</u> で吸収されて循環血液中に移行する。	1 誤 内服薬のほとんどは、その有効成分が主に <u>小腸</u> で吸収されて循環血液中に移行する。
25 頁〔3〕の解説	2 誤 坐剤は、肛門から医薬品を挿入することにより、直腸内で溶解させ、薄い直腸内壁の粘膜から有効成分を吸収させるものである。	2 誤 坐剤は肛門から医薬品を挿入することにより、直腸内で溶解させ、 <u>絨毛のない薄い直腸内壁の粘膜から有効成分を吸収させるものである。</u>
26 頁〔17〕の解説	d 誤 ～ゼラチンが広く用いられているため、 <u>乳成分</u> に対してアレルギーを持つ人は使用を避ける～。	d 誤 ～ゼラチンが広く用いられているため、 <u>ゼラチン</u> に対してアレルギーを持つ人は使用を避ける～。
44 頁〔1〕の解説	4 誤 ピレンゼピン塩酸塩は、過剰な胃液の分泌を抑えるが、消化管以外では一般的な <u>抗コリン作用</u> を示さないため、排尿困難の症状がある人や緑内障の診断を受けた人でも使用できる。	4 誤 ピレンゼピン塩酸塩は、消化管以外では一般的な抗コリン作用を示すため、排尿困難の症状がある人では、症状の悪化を招くおそれがあり、使用する前に、その適否につき、治療を行っている医師又は処方薬の調剤を行った薬剤師に相談がなされるべきである。
44 頁〔2〕の解説	c 誤 チョウジは、フトモモ科のチョウジの <u>蕾</u> を基原とする生薬で、 <u>香り</u> による健胃作用を期待して用いられる。	c 誤 チョウジは、フトモモ科のチョウジの <u>蕾</u> を基原とする生薬で、 <u>香り</u> による健胃作用を期待して用いられる。
48 頁〔30〕の解説	a 誤 メチルペナクチジウム臭化物は、副交感神経の伝達物質である <u>アドレナリン</u> と～。	a 誤 メチルペナクチジウム臭化物は、副交感神経の伝達物質である <u>アセチルコリン</u> と～。
54 頁〔8〕の解説	b 誤 カイカクは、～。 （カイカはマメ科のエンジュの <u>蕾つぼみ</u> を～用いられる。）	b 誤 カイカクは、～。 （カイカはマメ科のエンジュの <u>蕾</u> を～用いられる。）
56 頁〔8〕の解説	3 誤 桂枝茯苓丸は、体力中等度以下で～肝機能障害を生じることが知られている。 4 誤 柴胡桂枝乾姜湯は、体力中等度以上の人の皮膚疾患で～不向きとされる。	3 誤 柴胡桂枝乾姜湯は、体力中等度以下で～肝機能障害を生じることが知られている。 4 誤 <u>消風散</u> は、体力中等度以上の人の皮膚疾患で～不向きとされる。
65 頁〔4〕の解説	c 誤 シコンは、ムラサキ科のムラサキの <u>葉</u> を～。	c 誤 シコンは、ムラサキ科のムラサキの <u>根</u> を～。
66 頁〔7〕の解説	4 正 ～口腔内がアルカリ性になるとニコチンの吸収が低下するため、～。	4 正 ～口腔内が酸性になるとニコチンの吸収が低下するため～。

67 頁〔5〕の解説	d 誤 <u>コンドロイチン硫酸は、軟骨組織の主成分で、肝臓の働きを助け、肝血流を促進する働きがあり、全身倦怠感や疲労時の栄養補給を目的として配合されている。</u>	d 誤 <u>コンドロイチン硫酸は、軟骨組織の主成分で軟骨成分の形成及び修復を行う。関節痛、筋肉痛等の改善を促す作用を期待して、ビタミンB1 等と組み合わせて用いられている場合がある。</u>
68 頁〔12〕の解説	イ 誤 <u>ビタミンB 2（リボフラビン）が含まれている。</u>	イ 誤 <u>ビタミンB 1 2は含まれていない。</u>
72 頁〔6〕の解説	4 誤 <u>メトキサジアゾンは、カーバメイト系殺虫成分で～</u>	4 誤 <u>メトキサジアゾンは、オキサジアゾール系殺虫剤成分で～</u>
75 頁〔8〕の解答/解説	a 誤 登録販売者は～。 b 正 c 正 d 正	a 誤 登録販売者は～。 b 誤 <u>一般用医薬品の販売又は授与に従事しようとする者は、都道府県知事の登録を受けなければならない。</u> c 正 d 誤 <u>氏名の変更がある場合には、30 日以内に届け出なければならない。</u>
95 頁〔34〕の解説	d 誤 <u>安全性速報は、厚生労働省からの命令、指示、製造販売業者の自主決定等に基づいて作成される。</u>	d 誤 <u>安全性速報は、製造販売業者が、厚生労働省からの命令、指示、もしくは製造販売業者の自主決定等に基づいて作成する。</u>

(2026 年 6 月 16 日)